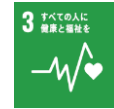




京葉銀行



2022年2月21日
株式会社京葉銀行
京成電鉄株式会社



障がい者就労環境向上のための取り組み

～チーム一丸、『おりづるガチャプロジェクト』を応援！～

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行、以下「京葉銀行」）、京成電鉄株式会社（代表取締役社長 小林 敏也、以下「京成電鉄」）は、パラビジネスプロデュース事業を行う一般社団法人障害者就労支援ネットワークP&P（代表理事 奥岳 洋子、以下「P&P」）が運営する『おりづるガチャ』プロジェクトを応援しています。

現在まで、『おりづるガチャ』は、すでに成田市内に設置されている1号機に続き、成田山参道入口近くの「はしらデリ&カフェ」に2号機、京成成田駅構内に3号機、さらには京成上野駅構内（東京都台東区）に4号機の計4台が設置されています。

今後も、京葉銀行と京成電鉄は、「パラビジネス」に賛同し、一丸となって継続的に設置や設置場所の紹介等を協力して行ってまいります。

【背景】

障がい者の就労現場では、収入の地域格差・事業所格差が全国共通の課題となっており、P&Pは、障がい者の就労環境向上につながる事業を運営しています。2021年1月に開催された『ちば起業家ビジネスプラン・コンペティション』において、同社の事業が、障がい者と福祉事業所の双方が就労環境向上を目指す取り組みとして高く評価され、2020年度優秀賞（千葉県知事賞）を受賞しました。

京葉銀行と京成電鉄はSDGs達成に向けた取り組みを加速している中、このプロジェクトに賛同し、協力するものです。

【『おりづるガチャ』プロジェクトの概要】

障がい者就労支援の現場で障がい者の収入を増やすことが共通の課題となっている中、P&Pが事業運営を行い、障がい者の就労環境の向上を目指し、支援するプロジェクトです。

障がい者福祉事業所での内職作業により折り鶴を製作し、おみくじや手書きのメッセージと合わせてカプセルに入れ込み、昨今話題を集めている“ガチャガチャ”で販売します。収益の一部が事業所に還元され、この取り組みにおける作業工賃は現状の約10倍を目指します。



■価 格 1回500円

■常設場所 はしらデリ&カフェ／京成成田駅／京成上野駅 他



はしらデリ&カフェ



京成成田駅



京成上野駅

【協力内容】

<京葉銀行>

銀行のネットワークを活用したマシーン設置可能な取引先の開拓・紹介。現在設置している、はしらデリ&カフェ、京成成田駅・京成上野駅はいずれも京葉銀行からの紹介で実現。

<京成電鉄>

京成線各駅でのマシーン設置、お客さまへの取り組み内容の発信。

京葉銀行と京成電鉄は、これからも社会的課題解決に向け、こうした取り組みを通じて地域社会へ貢献してまいります。

以 上